

2023年度 事業報告

施設名 幼保連携型認定こども園 みどり野保育園

施設長名 中田 一夫

種別 保育所

設立 1979年 4月

認可 2022年 4月1日 認可

2024.4作成

*2023 年度事業計画に対する評価

当園の中央地区の待機児童近年ほぼ0名であることに加え、育児休業法が定着したため0歳児の入所希望者が減る傾向にあり今後ますます少子化が進んでいくことが予想されることから安定した経営を維持していくことが難しくなっている。

そんな中でも子育てに不安を抱える家庭や発達特性を持つこどもの受け入れニーズは根強く存在することを考えると、現在の異年齢保育や発達特性を持つこどもへの保育の充実に加え、保育ソーシャルワークの質的向上が必須となってきている。

要保護児童対策協議会、幼保小連携推進委員会、民間保育園団体尼崎法人保育園会などとの連携を深める中で、こども家庭相談室、療育施設、学童など新規の取り組みにチャレンジしていく必要がある。

尼崎教会の榊田牧師には今年度も毎週金曜の礼拝を守っていただいた。次年度は教会のバザーと当園の秋祭りを合同で開催することが合意に至り準備を進めている。協働している教会のこども食堂も2年目に入った。

- 「理念」: 2023年度の年間聖句及び年主題も昨年と同様、保育士全員で考えた。理念に基づく保育実践を意識し共に研鑽に励んだ。
- 「人材」: 副園長、主幹教諭2人の体制の下、安定した保育運営がなされている。大きな環境整備は全て完了したので、2024年度も外部研修等の参加を促進し次世代の体制づくりに力を注ぐ。
- 「施設・環境」: 第1期改修工事では内装、第2期改修工事では外壁そして厨房の工事、第3期として園庭改造を行った。多様な遊びができる環境となり遊びに広がり生まれた。また地域の緑化委員会と共に緑の多い園庭づくりに努めている。
- 「保育」: 環境整備が進み、担当保育、異年齢保育は安定しているが、発達特性のある子どもへの対応に苦心しているが年々、保育士の資質が向上している。
- 「経営」: 年間通して定員66名に対して平均71名で推移し1号認定の増加や療育加算が加わり1,800万円程度の積立を行った。

1. 事業運営の概況

園児定員	クラス数	保育時間			
		通常保育	早朝保育	延長保育	休日保育
66 (内1号6)	4	7:00~18:00	なし	18:00~19:00	なし

2. 保育実績

① 在籍園児数

月	保育日数	在籍園児数							障害児・一時・休日・特例保育等の1日平均利用人数
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
4	25	3	10	11	11	17	17	69	療育加算対象児: 14名 一時保育利用児: 実施していない 休日保育利用児: 実施していない 延長保育利用児: 平均3名
5	24	2	10	11	12	17	17	69	
6	26	2	10	11	11	17	16	67	
7	25	4	10	11	11	17	16	69	
8	26	4	10	11	11	17	16	69	
9	24	4	10	11	12	17	16	70	
10	25	4	10	11	13	18	16	72	
11	24	4	10	11	13	18	16	72	
12	24	4	10	11	13	18	16	72	
1	23	4	10	11	12	15	13	71	
2	23	4	10	11	12	15	13	71	
3	25	4	10	11	12	15	13	71	
計	294	43	120	132	143	210	194	842	

(結果) 1) 2022年度の年間の延べ在園児数は853名に対して2023年度は842名と若干の減 2) 療育加算対象児が14名在園(昨年度11名) 3) 延長保育利用者3名(昨年度3名)

② 職員構成(年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入)

常勤職員							非常勤職員					合計
施設長	副園長	主幹教諭	保育教諭	調理員	その他	計	保育士		その他		計	
							常勤並	短時間	調理員	事務員		
1	1	2	11	(1)		16	1	2	(3)	1	7	23
1	1	2	7	1		12			(委託)			

(結果)
 定年後の再雇用2名、年度途中から産休が2名となったが、5月8月にパート職員2名を採用してカバーした。産休2名は2025年度に復帰予定。
 * () 調理員は委託先職員数

3. 園児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断			測定・検査など		
診療科	実施月日	備考	内容	実施月日	備考
内科	5月19日、10月20日		身体測定	毎月1回	
歯科	5月18日		尿検査	なし	
眼科	6月14日		予防接種	なし	
耳鼻科	6月20日		その他	なし	

ロ) 栄養管理(食事・おやつ)の取組み)

- 1) 一富士フードサービス(株)と委託契約9年目に入り安定した給食提供ができています。
- 2) 給食だよりをさらに充実させ食育等の啓発に努めた。(毎月1回)
- 3) 昨年と同様にトマトの苗等の野菜を育て食育を行った。
- 4) 給食会議を定期的に開催し、園行事などの協力関係は安定している。(イースター、秋祭り、もちつき、など)

ハ) 年間行事

月	実施内容	保護者会活動
4	入園説明会、イースター礼拝	
5	創立記念日、交通安全指導、県立尼崎高校との交流(3・4歳児)	書面での総会
6	花の日礼拝、歯磨き指導、総合防災訓練 4・5歳児親子遠足(甲子園浜へ磯遊び)	役員会
7	プール開き すいか割り	役員会
8	プール遊び、5歳児キャンプ	
9	秋祭り(園児と家族)、中央中学トライやるウィーク受け入れ	秋祭り
10	運動会 芋掘り遠足(4・5歳児) 芋ほり体験(2・3歳児親子遠足)	運動会の参加賞配布、役員会
11	「虫探し」、収穫感謝礼拝、5歳児園庭へ植栽、 焼き芋パーティー、総合防災訓練、かめ親子触れ合い会	尼崎教会バザー協力
12	クリスマス会、アドベント礼拝	クリスマスプレゼント配布
1	5歳児「万博公園ソラード」、もちつき	
2	生活発表会、就学前合宿保育、新入児面接、豆まき、幼児親子ディ	役員会(新役員の選出)
3	お別れ会 卒園式	卒園児へのプレゼント配布 保護者会から寄付あり

<毎月の行事>
 合同礼拝(毎週) 誕生会 避難訓練 コスモ運動遊び月2回(3,4,5歳児)

<結果と考察>
 キャンプは猛暑を避け8月下旬に実施。こどもの負担を減らすため、生活発表会をやめ幼児親子ディを開催。昨年中止だった尼崎教会のバザーが開催され当園の職員が協力した。次年度は秋祭りとバザーの共同開催を計画している。

ニ) 安全管理

火災	・6月20日、11月28日総合防災訓練実施 消防用設備点検年2回
地震	・地震想定避難訓練 ・防災関連緊急連絡のためメールの一斉配信ができる体制にある。
津波・浸水	・津波想定避難訓練 避難場所の確認

防 犯	・不審者想定避難を職員で共有 ・防犯カメラを設置した。 ・玄関オートロック・夜間侵入警戒センサー
衛 生	・各クラスに加湿・空気清浄器 乳幼児トイレにペーパータオル（フォルダーを設置） 防虫除虫消毒年2回実施 ・コロナ及びインフルエンザ感染予防の為アルコール消毒液の配置
防災備品	・各クラス及び事務所に非常用持ち出しリュック配備 ・1Fに水20×18本、ウォータータンク200 2つ、LEDランプ （乾電池単1×12本、単2×8本）・停電に備え、ソーラー充電器、防災用ガス発電機 ・簡易トイレ、紙コップ40個、ビスコ30枚×3缶、乳児用避難車、カレー・白米40食分 ・非常食（3日分）・おんぶひも（ツイン抱き）1セット・アクアリブ（消毒液）・寝袋6つ 屋上に防災備品保管用倉庫設置 ・AEDを設置 ・斧・鉈
救急講習会	新人2名受講（窪田、大村）

ホ) 賠償保険等の加入状況（利用者対象）

保険種別	会社・団体名	補償内容（金額）
施設賠償責任保険	全国私立保育園連盟	対人1名10億円 対物1事故1,000万円 死亡共済付 保育者賠償責任特約付
園児団体傷害保険	全国私立保育園連盟	死亡・後遺障害215万円 入院2,250円 通院1,500円
災害共済	日本スポーツ振興センター	負傷、疾病（医療費の療養に要する費用の4/10） 後遺障害見舞金（88万円～4,000万円） 死亡（最大3,000万円）
火災保険	あいおいニッセイ同和損保	建物1億円 備品・計器類1,000万円
行事参加者傷害保険	AIG損害保険	死亡・後遺障害3,501千円 入院4,500円 通院3,000円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- 1) 定期健康診断 年1回、検診内容（胸部X線、血液検査、血圧、尿、心電図、問診他）
- 2) 検便：栄養士・調理員 年24回、保育士（乳児・かめぐみ0・1歳担当）年12回
- 3) インフルエンザ予防接種 奨励のみで義務化はしていない。接種費用を全額園負担

ロ) 労務管理

- 1) 1ヶ月単位での変形労働制が定着している。
- 2) 夏季賞与1.8ヶ月、冬季賞与2.0ヶ月支給
- 3) 処遇改善Ⅰは期末に1.3ヶ月一括で支給。人事院勧告UP分は未払い計上し次年度に支払う予定。
- 4) 有給取得はすべて職員が5日以上消化した。

ハ) 職員会議（高齢除く）

内容	実施回数(開催時間)
職員会議 運営全般 行事計画反省等	月1回（2時間）
乳児（各クラス かめ・ぺんぎん）・幼児担当者会	月1回（1時間）
保育士ミーティング	月1回（2時間）
給食担当者会	月1回（30分）
リーダー会	週1回（90分）

ニ) 研修実績（イエス団含む）

No.	研修名	主催者	研修内容	開催時期	参加者
1	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	食事編①	4/7	窪田
2	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	食事編②	4/7	窪田
3	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	排泄と睡眠	4/7	窪田
4	イエス団研修	イエス団	リーダーシップ養成研修ステップⅡ	4/21～ 全8回	鈴木,安藝
5	新任保育士研修	日本キリスト教保育所同盟	キリスト教保育を学ぶ	5/26	窪田,大村
6	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	キリスト教保育とは	6/8	窪田
7	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	気になる保護者の理解と対応	6/8	保育士

8	保育所職員専門研修	尼崎市	障害のある子どもとその保護者に対する支援及び関係機関との連携	6/9	小島
9	リーダー研修	尼崎市	メンタルヘルス「こころの健康をしっかりとサポート」	6/15	杉原
10	イエス団研修	イエス団	ブラッシュアップ研修	6/16,6/17	長橋
11	イエス団研修	イエス団	沖繩平和研修	6/22～6/26	不破
12	幼児教育研修	尼崎市	うんどうあそび	6/30	中村
13	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育	7/22,8/5	増本,香川
14	新任職員歓迎礼拝・研修会	兵庫キリスト教保育協議会	新任職員歓迎礼拝・研修会	7/29	中田,窪田,竹本
15	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	子どもたちへの関わり方、保護者支援を考える	7/31	小島
16	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	お口の発達と食べ方・ことば	8/24	香川
17	夏季保育大学 in 北海道	日本キリスト教保育所同盟	当たり前はアタリマエ？(アイヌ民族、人権)	8/23～8/25	佃
18	地域型保育事業現任研修	尼崎市	気になる子どもとその保護者への対応	9/4	小島
19	乳児保育	尼崎市	わらべうた	9/7	窪田
20	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	ミッションステートメントを保育に活かす	9/25	不破
21	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	発達を支える運動遊び	9/5	窪田
22	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	「できた！」を感じる保育・行事の工夫って？	9/14	佃
23	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育	9/30,11/25	不破,窪田
24	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	応答的関わり大切さ	10/3	保育士
25	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	「良いとこ探そう！」～発達期に障がいを持つ子ども達の能力を伸ばすためのチャレンジ～	10/24	不破
26	保育所職員専門研修	尼崎市	保育現場における保護者支援の基本について	10/24	鈴木
27	公開保育	七松幼稚園	公開保育	10/27	鈴木
28	イエス団研修	イエス団	新任職員フォローアップ研修	10/28	窪田
29	全体研修	尼崎市	絵本ライブ	11/10	保育士
30	保育所職員専門研修	尼崎市	幼児期の終わりまでに育ててほしい姿とアプローチ・スタートカリキュラムについて	11/10	安藝
31	中堅保育士研修	日本キリスト教保育所同盟	わたしのキリスト教保育ブレイクする～？	11/15	中村,佃
32	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	食育・アレルギー対応	11/19,12/2	中村
33	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	保健衛生・安全対策	11/11,11/18	長橋
34	リーダーシップ研究ゼミ	日本キリスト教社会事業同盟	リーダーシップ研究ゼミ	11/25～11/27	安藝
35	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	子どもたちと迎えるクリスマス心得	11/28	窪田
36	保育所職員専門研修	尼崎市	不適切な養育を疑われる子どもやその保護者への支援について	12/8	小島
37	公開保育	神戸コダーイ	わらべうた公開保育研修会	12/12	鈴木,不破

38	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	ミッションステートメントから保育を捉えなおす	1/31	安藝
39	施設訪問研修会	甲子園二葉幼稚園	施設訪問研修会	2/1	長橋
40	オールあまっ子連絡会保育士対象合同研修	尼崎市	保育における事故防止、リスクマネジメントの理解を深め、実践に活かす	2/15	中村
41	幼保小連携推進事業に係る全体研修会	尼崎市	「幼保小の架け橋プログラム」及び、架け橋期の重要性について	2/13	鈴木
42	幼保小連携推進事業に係る地区別情報交換会	尼崎市	幼保小の架け橋プログラム他	2/26	安藝
43	管理職等研修会	兵庫県保育協会	管理職等研修会	3/4	(田中)
44	新規採用内定研修会	兵庫県保育協会	新規採用内定研修会	3/5	難波
45	保育所職員専門研修	尼崎市	ごっこ遊びを通じて育む人との関わりと遊びの質の高まり	3/7	佃
46	保育所職員専門研修	尼崎市	コミュニケーションエラーを防止し伝え方のスキルを身につける	3/11	大村
47	新任職員研修	イエス団本部	新任職員研修	3/25～3/26	難波

※()以外は保育士

<結果と考察>

オンライン研修、対面研修を複合的に研修を実施。研修受講は若干増えた。2023年度から処遇改善Ⅱに関してはキャリアアップ研修受講が必須となっているため、引き続き意識的に受講を促した。

次世代のリーダーシップ養成のためステップⅡに2名受講させた。

ホ) 福利厚生<退職共済制度(機構・府県・市)、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度(福祉医療機構)
- ・労基法の改正に基づく就業規則の変更は随時行った。
- ・業務災害総合保険(AIG損害保険): 死亡・後遺障害 1,000万円 入院 5000円/日 通院 3,000円/日

5. 子育て支援・地域との交流の報告

月	子育て支援センター	月	地域交流との交流
4		4	尼崎教会こども食堂「マンナ」がスタート(月1回)
5	子育て相談を随時受付	5	県立尼崎高校「教育と絆」交通安全週間出発式に参加
6	〃	6	花の日にちなみ、園医さんに花を届ける
7	子育て相談を随時受付	7	
8	〃	8	
9	〃	9	秋祭り(園児と家族)、人形劇 尼崎市立中央中学校トライやるウィーク
10	〃	10	
11	〃	11	尼崎教会バザーに参加、あまっこ交流会に参加
12	〃	12	
1	〃	1	もちつき(園児のみ)
2	〃	2	伊丹南小学校授業見学
3	〃	3	ゆりかご保育園園児との交流
その他 ・施設訪問支援として「たじかの」3回、「阪神特別支援学校」2回、「いくしあ」1回 ・園見学を随時			
<結果と考察>			
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、中学生、他保育園児との交流、小学校訪問など昨年以上に地域関係者との交流が深まった。 ・園庭開放、子育て相談は再開した。 			

6. 施設・設備の整備の実績（項目、金額、実施月等、10万以上記載）

整備名称	金額	勘定科目	財源	実施月
給湯器取替工事費	180,000 円	器具及び備品	運営費	4 月
外部トイレ改修工事 再設計・監理業務	220,000 円	建物	運営費	8 月
園庭側トイレ改修工事	581,900 円	建物	運営費	8 月
園庭整備工事 第一期	13,944,700 円	構築物	運営費	9 月
ディスプレイ 事務所	126,500 円	器具及び備品	運営費	6 月
園庭整備工事 植栽	297,000 円	器具及び備品	運営費	11 月
園庭整備工事 実務設計業務 業務完了時	99,000 円	構築物	運営費	11 月
小計	15,449,100 円			

*固定資産台帳に乗らない消耗品も掲載した。

7. 会計決算の状況

1) 主な収入

事業活動収入 134,457 千円（昨年度 125,900 千円）8,557 千円増
 <内、障がい児保育事業補助金 12,110 千円（昨年度 9,680 千円）2,430 千円増
 人勸 up 分 4,097 千円増

2) 主な支出

人件費支出 89,752 千円（昨年度 83,747 千円）6,005 千円増 （ベースアップ及び処遇改善Ⅲ増、）
 業務委託費 9,460 千円（昨年度 10,040 千円） 580 千円減
 研修費 686 千円（昨年度 148 千円） 538 千円増（沖縄研修、夏季大学他）
 建物取得支出 14,043 千円（園庭改修）

3) 収支差

年間を通して定員 66 名に対して 71 名を推移。0 歳児も定員 6 名に対し後 4 名であったが、障がい児保育事業補助金対象が 14 名、1 号認定 6 名定員に対し最終 7 名。人勸 up、処遇改善Ⅲなどの収入が増えた。

事業活動収支が 20,561 千円（昨年 16,967 千円）あった。昨年より 3,594 千円増。人件費が大幅に膨らんだが保育事業収入も相当分増えた。園庭改修等を行ったが積立を 14,000 千円取り崩し対応。結果、18,000 千円を保育所施設・施設整備に積立てを行った。結果、当期末資金収支差額は 189 千円となった。

8. その他

- 1) 幼保連携型認定こども園への移行 2 年間目、1 号認定は 7 名であった。
- 2) 外部評価の必要性を感じていたため「施設関係者評価」をよい子ネットを活用し初めて行った。
概ね高評価であり、その結果を HP に掲載した。
- 3) 公開保育を再開し意見交換を行った。
神戸市から 2 園、西宮市から 2 園の参加があった。有意義な懇談の時を持てた。
- 4) 地域との交流事業は平時の状況に戻った。
- 5) 人財確保は苦戦したが非常勤を途中で 2 名採用し凌いだ。2024 年度は新卒 1 名、異動職員 1 名が加わり必要保育士数を確保できた。2025 年度は産休中職員が 2 名復帰するため当面、保育士確保の必要はなくなった。
- 6) 2024 年度は尼崎教会との協働バザーを開催の計画が進んでいる。